


銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



2月の銅の概況及び3月の見通し (1)

	予想レンジ	
LMEセツル	8,500-10,000ドル	●
建値	920-1,100円	●
為替	104~106円	円高
(1か月間TTM)		

■国際概況

前半は1月の米国ISM指数も前月より低下したこと、主要通貨に対してドル高が進んだことでドル建てのLME相場は圧迫などのマイナス材料もあったが1.9兆ドルの米追加経済対策が上院を通過し実施へ前進したこと、引き締め転換が懸念されていた中国金融スタンスについて当局の流動性供給維持が表明されたことを好感し上昇。

2月15日時点で8270.5ドル(セツル)と月初価格より443.5ドルUPの前半締めとなった。

後半は、米国債の利回り上昇をきっかけに米株安、リスク回避のドル高などのマイナス材料もあったが米追加経済対策実施期待と金融緩和長期化のFRB議長声明によるインフレ懸念、春節明けのアジア勢の買いが加速したことなどを好感しUP。

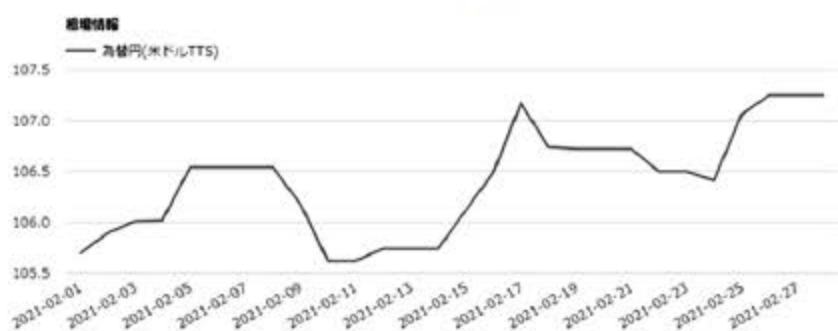
2月末日現在、後半スタート価格から756ドルUPの9472.5ドル。

3月スタート建値は101万円。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

105.69→107.25(円)



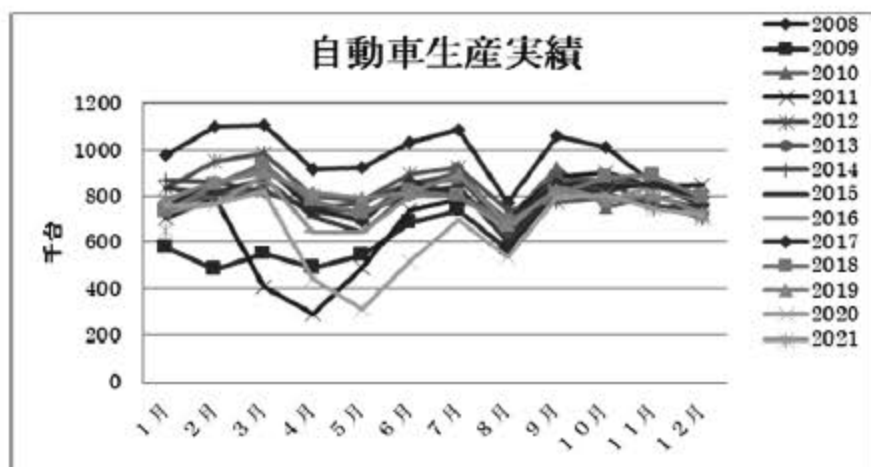
出典 MIRU

【国内指標】

◆自動車生産台数

生産動態統計によると1月の自動車生産台数は前年比-10.1%の65万2,878台。輸出は-10%。

	11月	12月	1月
生産台数	74万8026台	71万8173台	65万2878台
前年比	-2.5%	+4.1%	-10.1%

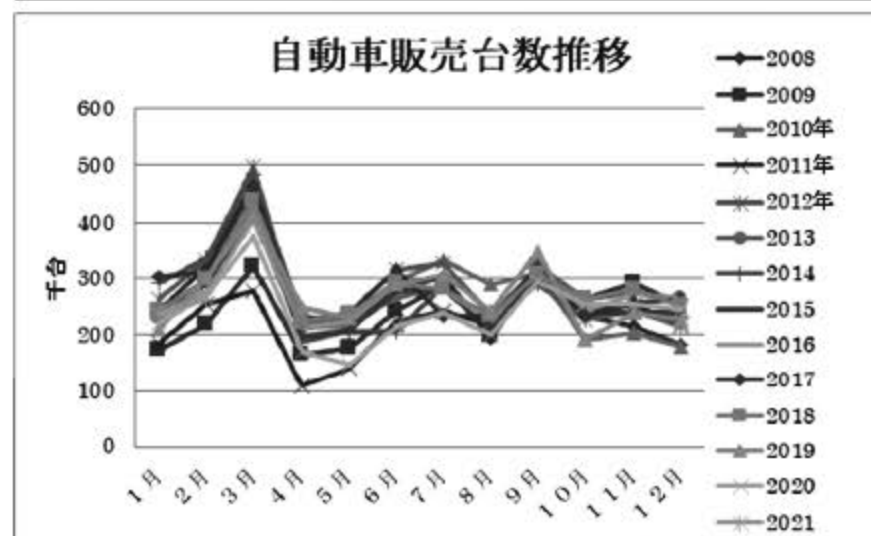


出典 生産動態統計

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると2月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-2.2%の26万2,372台。

	12月	1月	2月
販売台数	24万3753台	23万6592台	26万2372台
前年比	+7.4%	+6.8%	-2.2%



出典 日本自動車販売協会連合会

【住宅着工戸数】

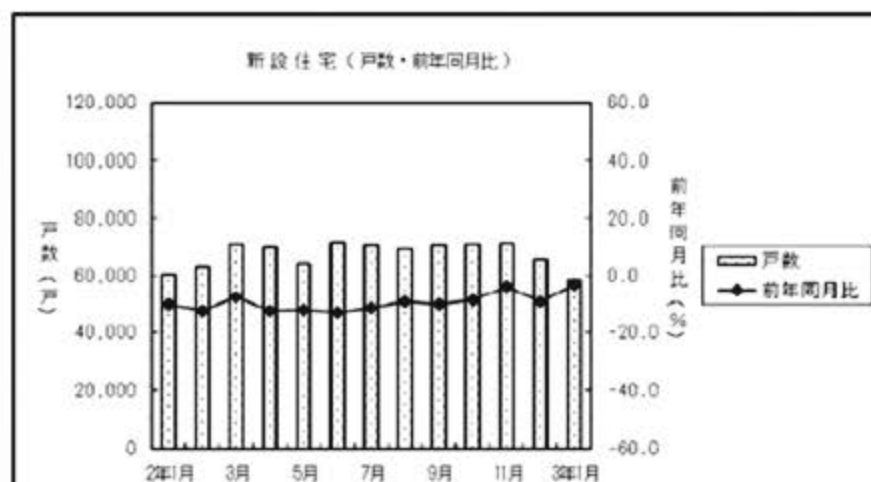
1月の新設住宅着工は、持家及び分譲住宅は増加したが、貸家が減少したため、全体で前年同月比3.1%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比2.2%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は58,448戸。前年同月比3.1%減、19か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は4,825千㎡。前年同月比0.1%増、18か月ぶりの増加。

○季節調整済年率換算値では801千戸。前月比2.2%増、先月の減少から再びの増加。

	11月	12月	1月
新設住宅着工数	7万798戸	6万5643戸	5万8448戸
前年比	-3.7%	-9%	-3.1%



(次号へつづく)

